

報道機関のお問い合わせ先：

山下 絢子 +81 3 5511 7572 または Ayako.Yamashita@morningstar.com

ステファニー・ホー +852 2973 4655 または Stephanie.Ho@morningstar.com

即日発表

**モーニングスターが第6回「グローバル・インベスター・エクスペリエンス」を発表。
投資の費用は世界的に低下傾向ながら、市場ごとの格差も。**

「手数料・費用」でオーストラリア、オランダが、米国「上位」の評価。
イタリアと台湾「下位」の評価。

2019年9月18日 東京発-- 独立系大手投資調査会社の米国モーニングスター

(Morningstar, Inc.、NASDAQ: MORN) は本日、「グローバル・インベスター・エクスペリエンス (GIE)」の第1章を発表しました。GIEは隔年で発行されているレポートで、北米、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界の26の市場を対象に、投資信託に投資を行う投資家の利便性を評価するものです。第6回目となる今回のGIEは、「手数料・費用」、「規制・税金」、「情報開示」、「販売」の評価項目ごとに別立ての章として発行されます。本日発行された第1章の「手数料・費用」では、投資信託への投資に伴う費用を世界各地の市場について評価しています。

モーニングスターは、「上位（トップ）」、「平均超」、「平均」、「平均未満」、「下位（ボトム）」の5段階を用いて評価を行いました。オーストラリア、オランダ、米国に「上位」の評価を付け、手数料と費用の面で投資家にとって最も好条件の市場としました。一方、「下位」はイタリアと台湾で、手数料と費用が高い投資信託市場と評価しました。

モーニングスターのマネージャーリサーチ担当グローバルプラクティス責任者で、今回のレポートの共著者を務めたグラント・ケナウェイは、次のように述べています。

「グローバル・インベスター・エクスペリエンスは、投資家の視点から見た投資信託

のグローバルなベストプラクティスについての議論を刺激し、透明性を高めることで、世界各地の投資家に貢献することを目指しています。2017年に行われた前回の調査以降、ファンドの手数料は全世界で下がり続けています。これは多数の重要なトレンドを反映しています。秩序ある競争や規制当局の介入のほか、一部の市場で事業慣行が変化し、アドバイス料や販売手数料をファンドに含まれる費用と分けるようになったことなどが挙げられます。」

Top	Above Average	Average	Below Average	Bottom
= Australia	↓ New Zealand	↑ China	↑ Belgium	↓ Italy
= Netherlands	↓ Sweden	= Denmark	↑ Canada	= Taiwan
= United States	↑ Switzerland	↑ Finland	= France	
	= Thailand	↑ India	= Germany	
	= United Kingdom	= Japan	= Hong Kong	
		= Korea	* Mexico	
		= Norway	= Singapore	
		↓ South Africa	= Spain	

Source: Morningstar, Inc. Grade change indicators: ↑ Improved since last survey ↓ Declined since last survey = No change since last survey

手数料・費用の評価結果を説明した第1章は、[こちら](#)から入手できます。

この章の主な調査結果は以下のとおりです。

- 国内籍および購入可能な外国籍ファンドの資産クラスごとの加重平均エクスペンスレシオ（日本の信託報酬にほぼ相当するもの）は、調査した26の市場の過半数で2017年の前回調査時に比べて低下しました。コストの低下幅が最も大きかったのはオランダで、次いでインド、カナダでした。
- 上位の評価となったのは、オーストラリア、オランダが、米国。米国は、スケールメリットと活発な競争の効果があることから、これまで6回のGIE調査すべてで上位の評価を得ています。オーストラリアとオランダは、3回連続の上位評価となりました。どちらの市場も、規制の効果を受けて手数料の透明性が高く、またオーストラリアでは、競争とスケールメリットがコスト低下をもたらしています。
- 台湾とイタリアは、今回の調査で下位の評価となりました。台湾は、手数料と費用の面でこれまで常に低い評価を受けてきました。調査対象のなかで最も

高コストのいくつかのファンドが台湾に存在しています。イタリアは、平均未満から下位に評価が下げられました。個人投資家にフロントロード（販売手数料）とレトロセッション（割戻報酬）を課していることが原因です。また、イタリアのファンドは、資産クラスごとの加重平均エクスペンスレシオが全体的に高い結果となりました。

- 調査対象市場の半数は、平均または平均超の評価となりました。モーニングスターは、独自の分析の結果、投資家の置かれている環境が複数の市場で改善しつつあると結論しました。手数料が下がっていることに加え、ロードやトレイルコミッション（購入・解約時の手数料）がかからないファンドを購入しやすくなっているためです。
- 多くの市場で、規制当局が手数料の透明性を高める施策を強化しています。これらの市場では、税制優遇や義務付け、またはその両方を導入して、コスト低下を促進してきました。また、好調な市況とコスト低下に支えられて資産運用業界が大きく成長した結果、スケールメリットの効果を投資家に還元する必要性も注目されるようになってきています。例えば、インドは、手数料・費用の評価が2017年の平均未満から平均に改善しました。インドはエクスペンスレシオが最も高い市場のひとつでしたが、フロントロードやアップフロントコミッションを禁止する投資家保護の規制が導入され、さらに最近では、運用に係る手数料に上限が設けられたことから、評価の改善につながりました。

評価方法について

この調査では、公に販売されているオープンエンド型ファンド、すなわちリテール登録のあるファンドを主な調査対象としています。また、世界各地の市場にわたってファンドのコストを客観的に測定し比較可能にする最善の方法として、資産クラスごとの加重エクスペンスレシオを使用しています。調査に際しては、各市場におけるETF（上場投資信託）の普及や浸透の程度を評価するため、ETFに関する質問もわずかながら盛り込まれました。

今年の調査の変更点としては、「代表コスト」を使用した点が挙げられます。これは、地域間や各市場間で比較する際のマスターエクスペンスレシオとなります。2019

年の調査では、この[代表コスト法](#)に基づいて手数料が計算されました。また、今回の調査から、メキシコが調査対象市場に加わりました。メキシコの手数料・費用の評価結果は、平均未満となりました。

以上

ここに記載された情報は、(1) モーニングスターとそのコンテンツ提供者の専有の所有物であり、(2) 複製・配信は禁じられており、(3) 正確、完全、または最新の情報であることは保証されていません。モーニングスターとそのコンテンツ提供者は、この情報を使用したことで生じるいかなる損害や損失に対しても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

モーニングスター社について

モーニングスターは独立系大手投資調査会社で、北米、欧州、オーストラリア、アジアの27カ国に拠点を展開しています。同社は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、機関投資家の皆様に対してさまざまなプロダクトやサービスを提供しています。同社が提供している金融商品のデータは株式、投資信託およびその他の投資関連商品や指数を網羅しており、加えてリアルタイム配信する世界各国の市場データとして、外国為替や米国債市場のほか、株式、指数、先物、オプション、コモディティ、貴金属などの系列を有しています。また、投資顧問登録を持つ傘下の子会社を通じて、資産運用ソリューションも提供しており、2019年6月30日現在の助言・運用残高は約2,200億ドルです。

###

©2019 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

MORN-R